

## 情報工学部 令和5年度学校推薦型選抜Ⅰ出題範囲

適性検査の数学、理科（インターネット出願登録時に物理、化学、生物の領域から1つを選択）及び英語は、タブレットを用いた CBT (Computer Based Test) 方式による選択式問題の試験として実施します。また、面接試験においても、適性検査の数学及び理科の問題に関する口頭試問を実施します。

### 1 数学

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 数学Ⅰ（「データの分析」は除く）
- 数学Ⅱ
- 数学A
- 数学B（「確率分布と統計的な推測」は除く）

※ 高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者については、以下の科目をもって代えることができます。ただし、この適用は、当該出身者であり、インターネット出願登録時において本学が指定する登録項目を選択した場合に限ります。

- 1) 情報技術基礎【教科名：工業】  
「プログラミングの基礎」
- 2) プログラミング【教科名：商業】  
「プログラミングの基礎」、「プログラミングの応用」
- 3) アルゴリズムとプログラム【教科名：情報】  
「アルゴリズムの基礎」、「プログラミングの基礎」、「データの型と構造」
- 4) 数学Ⅰ（「データの分析」は除く）  
数学A

### 2 物理

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 物理基礎
- 物理（「原子」は除く）

### 3 化学

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 化学基礎
- 化学（「高分子化合物の性質と利用」は除く）

### 4 生物

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 生物基礎
- 生物（「生物の進化と系統」は除く）

### 5 英語

以下に指定する範囲の中から出題します。

- コミュニケーション英語Ⅰ
- コミュニケーション英語Ⅱ
- 英語表現Ⅰ

※リスニング及びスピーキングは出題しません。

※ 本学が指定する英語資格・検定試験のスコアを出願時に提出した場合は、適性検査（英語）の得点に対し、換算点を加点します。ただし、加点後の適性検査（英語）の得点が150点を超える場合は、150点として扱います。